
巻頭言

本学会の機関誌『パーソナルファイナンス研究』（No.9）をお届けします。

今年度も後半に入り、ようやくウィズコロナ時代のニューノーマルを心理的にも受け入れられるようになってきました。チャットGPTなど、対話型AIの普及が本格化しています。リリースから数か月にすぎないのに、誰も想像できなかったような速さで使われるようになりました。このような対話型AIがパーソナルファイナンスの世界にも大きな影響を及ぼすことは間違いありません。与信やマーケティングのやり方が抜本的に変わってしまうかもしれません。金融教育のあり方も間違いなく変わってしまうでしょう。差別・偏見といったAIに特有なバイアス問題の解決もますます重要になるでしょう。研究面でもこうした問題に取り組むことが必要不可欠となります。

本号では、招待論文として「ヤミ金融の浸潤から見た貸金市場の持続可能性に関する調査」と「金融教育が金融リテラシーと金融行動に与える影響—メタアナリシスを中心とした海外文献のレビュー—」の2編を掲載しています。

本機関誌では、全国大会での研究報告にこだわらず、平素の研究活動の成果を積極的に寄稿していただければと考えています。特にパーソナルファイナンスの世界は変化が激しく、解決すべき問題も次々に生まれてくることから、会員の皆様のいっそうの寄稿をお願いする次第であります。

2023年2月

パーソナルファイナンス学会
会長 坂野友昭